

# ニコないっしん11月号

2023年 Vol.189



## むし歯で歯が折れる？ 早期発見なら削らないで治せることも… 患者は高齢者で増加傾向

今回はyomiDr.さんに載っていた記事を紹介します。



<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230828-OYTET50018/>

高齢者のむし歯が増えています。特に歯の付け根にできる「根面う蝕（こんめんうしょく）」は、気付かないうちに進行し、歯が折れる原因になります。早期発見し適切なケアを続ければ、歯を削らずに進行を止めることができます。

むし歯は、口の中の細菌が食べかすなどに含まれる糖分から作った酸で、歯が溶け、穴があく病気です。

歯の加齢や歯周病で歯茎が下がると、歯の付け根が露出し、酸にさらされます。付け根を覆うセメント質とその内側の象牙質はいずれも酸に弱いのです。

付け根は磨き残しも多くなりがちです。痛みもないままにむし歯が進行し、ある日突然、歯が根元から折れることもあります。

80歳で20本以上の歯を保つ「8020」を達成した人は増え続け、2016年には半数を超えました。多くの歯を残せるようになり、付け根にむし歯がある高齢者も増えています。

サンスターグループが、ある歯科診療所を受診した20～80歳代の男女298人を対象に調べたところ、付け根にむし歯がある割合は60歳代で51%、70歳代は66%、80歳代は70%と、高齢になるほど高くなりました。

むし歯は、早期に発見すれば、歯を削らずに、進行を止めることができます。日本歯科保存学会は22年、付け根のむし歯について、削らない治療を中心とした診療指針をまとめました。自宅でも歯科医院でも、予防して進行を止める成分「フッ化物」を使います。

深さ0.5ミリ以内の初期むし歯には、「フッ化物」を含む歯磨き剤を毎日使うことを推奨しています。

高濃度のフッ化物を含む薬液を歯科医や歯科衛生士が患者の歯の表面に塗る治療も効果があります。

診療指針の策定に携わった大阪大歯学部附属病院長の林美加子さんは「年を重ねるほどに歯並びや治療痕などの個人差が大きくなり、自己流の歯磨きでは予防が難しくなります。かかりつけの歯科医を持ち、指導を受けましょう」と話しています。

※記事を抜粋してあります。詳しくは左上のURLからご覧ください！



ないとう歯科医院 新潟市東区物見山2-35-19 TEL:025-270-2218 <http://www.naito-dental.com>